

活動名	千葉日本大学第一小学校実験教室
-----	-----------------

貢献・連携類型	4. 小中高大連携・協力
---------	--------------

報告者	一般教育	学科	職位	教授	氏名	大久保 尚紀
-----	------	----	----	----	----	--------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

日本大学理工学部は、附属小学校である千葉日本大学第一小学校との連携の一環として、本学部の教員による実験教室を毎年行っています。この活動は、小中高大という一環した連携教育のモデルとして、大学での先端の実験教育やアーティスティックな実験教育のエッセンスを含んだ科学教育を附属小学校が享受し、将来の理系人材への育成する活動です。また、教職課程の学生のボランティア参加などを通し大学生の育成にも取り組んでいます。

令和6年度後期は、6年生に対して色の三原色の学習から始まり、レーザー加工機の実演も含めてワークショップ「スタンドグラス風ツリーを作ろう」を実施しました。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

6年生80名が楽しんで作業が行われました。レーザー加工機で切り抜かれたクリスマスツリーに、各人が選んだ色セロファンを張り、また重ねることで色の変化を体験・創意工夫しながら、アートを含む科学教育として実施することができました。また、レーザー加工機の実演と切り出した各人の名前が高精細なことを見て、未知の先端科学にふれる事ができました。

対象・相手先	千葉日本大学第一小学校の 6年生児童80名
--------	--------------------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入） 相手先からの理工学部長宛て依頼文書がある

実施日時	令和6年11月7日 9時30分～12時30分
------	---------------------------

場所	理工学部船橋校舎1号館4階 第1,2実験室
----	--------------------------



本学からの参加者
一般教育教室・大久保尚紀、他9名(伴、岡田、勝木、杉友、竹内、大江、山口)
短大一般教育・豊田陽己、他1名(梅津)
教職課程の学生1名



日大
理工